

科目ナンバリング		U-LAS03 10006 SB48					
授業科目名 <英訳>	外国文献講読（法・英）Ⅰ-E1 Readings in Humanities and Social Sciences (Law, English)Ⅰ-E1				担当者所属 職名・氏名	法学研究科 教授 和田 勝行	
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	外国文献研究		使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（対面授業科目）
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	金4		配当学年	2回生以上
						対象学生	全学向
【授業の概要・目的】							
<p>本講義では、Gerhard Robbers, An Introduction to German Law, 2019を講読する。本書は、ドイツ法全般を概説したものであるが、このうちドイツ民法に関わる部分を講読し、日本民法との相違についても考える。</p> <p>日本民法に大きな影響を与えたドイツ法の考え方について知ることは、多様な考え方の可能性に触れ、日本民法の立場を相対化する上で有益である。</p> <p>本講義の目的は、法学に関する英語文献の読解力を高めることとともに、ドイツ民法との比較を通じて、日本民法の基本的知識を獲得することである。</p>							
【到達目標】							
<p>法学に関する英語文献の読解力を向上させる。</p> <p>日本民法の基本的知識を獲得する。</p> <p>ドイツ民法との比較により、多様な規律の可能性が存在することを理解する（自国の立場を相対化して考えることができる）。</p>							
【授業計画と内容】							
<p>第1回 イン트로ダクション 授業の進め方や参考文献について紹介・説明し、必要に応じて和訳の担当部分を割り振る。</p> <p>第2回～第14回 指定文献の講読 上で指定した教科書を順次訳読していく。1回の授業では2頁程度の進行を予定し、講読箇所は事前に各学生に割り当てる。担当箇所の和訳は、事前に電子メールで提出してもらい、その訳文を添削・解説する形で授業を進める。必要に応じて、英語の文法・表現や日本民法の知識に関する解説も行う。</p> <p>第15回 期末試験 / 学習到達度の評価 フィードバック方法は別途連絡します。</p>							
【履修要件】							
外国文献講読（法・英）は専門への導入コースなので二回生以上を対象とする。							
【成績評価の方法・観点】							
<p>【評価方法】 平常点（出席、提出した訳文など。30点）及び期末試験（70点）をもとに評価する。 期末試験は、到達目標に従い、英文の読解スキル・民法の基本的知識を問うものとする。</p>							

外国文献講読（法・英）Ⅰ-E1(2)へ続く

外国文献講読（法・英）Ⅰ-E1(2)

-----  
[教科書]

Gerhard Robbers 『An Introduction to German Law, 7 Edition』（Nomos, 2019）（授業に必要な資料はプリント配付する。）

[参考書等]

（参考書）  
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

割り当てられた担当箇所以外も、自分で目を通してくること。

[その他（オフィスアワー等）]

この科目は法学部生を対象に開講される科目です。履修人数に余裕があれば、法学部以外の学生も履修することが可能ですが、法学部事務室で事前申込が必要です。詳細は履修（人数）制限に関するお知らせで確認してください。

[主要授業科目（学部・学科名）]